

石神中学校だより20号

発行日：令和4年2月17日

2021重点目標〈課題を持って自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒〉 文責：校長 佐藤恭司



中学校初給食：カレーライス 2019.4.9 1年生

応援・参観者なしなど、様々な制限も重なりました。総合的な学習の時間では、福祉体験や職業体験など社会のしくみや将来の方向性を探る学びの場にも影響がありました。開かれた学校として、地域の方々との交流や保護者授業参観



文化祭合唱の様子 2019.10.26 1年生

行われました。このような状況での3年間でしたが、卒業する生徒らは、仲間とともに切磋琢磨しながら、心身ともに成長していく姿が随所に見られました。人への優しい思いやりも見られるようになりました。この激動の3年間を経験した生徒たちは、今後、失敗を重ねながらも人生を学び、人に優しい心豊かな歩みを続けてくれるものと信じています。新たな学校、職場でたくさんの人との出会いを謳歌し、自分自身をさらに高められることを期待します。

～ねがい①～ 卒業を迎える今

2019年4月に本校に入学した生徒たち、来月3月11日に卒業式を迎えることとなります。昨年度、今年度と新型コロナウイルス感染症拡大にともない、学校生活や家庭生活が大きく変わりました。当たり前が出来た学校行事や中体連、吹奏楽コンクールなども、延期や中止、



技術の授業の様子 2019.5.28 1年生

PTA 委員会活動、文化祭協力等も中止になるなど外部からの入校もコロナ感染対策のため、厳しくなりました。長年続いてきたイギリスのロセット校との交流事業では、双方への往来が出来ない状況で、手紙や作品交換でのやりとりが



文化祭合唱の様子 2021.10.23 3年生

石神中学校を支える教職員を紹介します①②



職名 主任主査 ^{ふくた} ^{おさむ} 福田 修さん

<簡単な自己紹介> 原町区出身

目的地は特に決めず、車でふらっと出かけるのが好きです。年末には、どういうわけだか「第九」を聴かないと落ち着かないです。

<生徒への期待・願い・アドバイスなど>

友達とまわりのみなさんと助け合いながら、充実した学校生活を送ってください。



職名 スクール・サポート・スタッフ (SSS)

^{わたなべ} ^{みか} ^こ 渡邊美香子さん

<簡単な自己紹介> 原町区出身

今年度、校内の消毒作業をしています。

<生徒への期待・願い・アドバイスなど>

同じように見える毎日でも、二度と戻らない貴重な日々です。悔いのような事があってもとらわれていたとしたら、もったいないですよ。何が自分にとって最善なのか常に考え、居心地良く幸せを感じながら生きていける事を願っています。

春が近づいてきました！

南相馬市シルバー人材センター員による校地内の樹木剪定作業が行われました。落葉広葉樹や一部の常緑樹は、冬季剪定が基本だそうです。成長がストップする11～2月の休眠時期に剪定することで、木への負担が少なく済みます。特に桜などの落葉樹には、病気になったり腐ったりすることなく春を迎えるためにも冬剪定は適切ということです。2ヶ月後には、本校にも桜花爛漫の季節がやってくるのです。



～ねがい②～ 思春期まっただ中！

小学生までは何でも話してくれた子どもが、中学生になると親との会話が少なくなり、何を聞いても、短い語彙で片言話す表現にいらだつものです。思春期特有の言動も、大人へなるための大切な成長過程なのです。親の苦労や社会で働く様々な人たちの後ろ姿を知ること、思いやりやものの価値がわかってくるのかもしれませんが、今、反抗期を迎えている中学生も高校卒業頃になると親思いの優しい姿を見せてくれるでしょう。

腫れ物に触るような気遣いはせずに、怒らず普段通りに接することが大切だと思います。



※思春期：小学生高学年あたりから始まる第二次性徴に伴い、身体が子どもから大人へと大きく変化する時期です。脳と身体が劇的に変化し、その影響を受けて、考える力、心にも大きな変化が起こります。急激な自分の変化に違和感を感じながら、仲間関係や異性関係の悩み、自己に関する悩み、自立をめぐる親子間の葛藤など、学童期までとは違った新たな発達課題が見られるのが特徴です。

